

# 視聴覚教育

NO. 323  
発行日 18.6.12  
発行 岡崎市AVL  
編集 現職研修委員会  
学習情報部

**視聴覚用語**  
「ハイビジョン」  
NHKが世界に先駆けて発表した次世代高品位テレビ。視覚における心理効果を十分に引き出すとして開発された。走査線は通常テレビの倍以上、映画で使われる35mmフィルム画質にほぼ相当する。ワイド画面で臨場感が増している。

## 松下教育研究財団による

### 研究助成・実践研究委嘱

実践研究助成は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組み実践的な研究計画について助成されるものである。今年度、実践研究助成先を受けた学校名と研究テーマは次のとおりである。

#### 第32回実践研究助成校

藤川小学校

「PHSと中継無線LANの活用による

学習意欲の向上と継続化

校外学習における端末と、

校内サーバーとの通信を通して

これまでの校外学習では、疑問があるとき時的にノートに書き留めるなどして、学校に戻ってから調べて解決してきた。これでは、学習の興味や関心が中断することになる。また、校内で調べるうち



利用するPHS端末

に生じた疑問に対し、再び校外に出向く必要もある。

そこで、PHSや無線LAN端末を用いて校外で用いて、インターネットや校内サーバーにリンクさせるシステムを構築することで、こうした問題をリアルタイムに解決し、学習意欲を継続させ、学習効率を高めることを目指す。

#### 平成18年度理想教育財団

### 「2色プリント」の効果的利用に

#### 関する調査・研究

### 実践研究委嘱校

六ツ美北中学校

学校で日々作られるプリントは、「教師と児童・生徒」、「学校と家庭・地域社会」とのコミュニケーションに欠くことのできない大切なものだと考え、高速2色デジタル印刷機を活用し、プリントの質の向上と豊かなコミュニケーションの実現を目指した研究である。

### 「スキナー付はぎプリンター」助成校

夏山小学校

藤川小学校

矢作東小学校

千万町小学校

梅園小学校

六ツ美中学校

### 「視聴覚教育あれこれ」

#### 第2回「育て！プリント

### 「コミュニケーション」コンクールの結果

平成18年3月末にあった「育て！プリントコミュニケーション」コンクール（主催・理想教育財団）に岡崎の先生方から多くの応募がありました。次の方々が入賞・入選されました。おめでとうございました。

#### 【優秀賞・日本教育新聞社賞】

鈴木 一生（矢西小）

#### 【審査員特別賞】

宇都宮森和（生平小） 手島 露子（根石小）

#### 【審査員奨励賞】

平木 教男（生平小）

#### 【優良賞】

水越 健介（連尺小） 藤田 宏（矢東小）

柵木 弓（小豆坂小） 岡村 直美（竜海中）

太田 享（竜海中）

#### 【佳作】

林 茂生（北野小） 高沢 秀昭（夏山小）

稲垣たかみ（六南小） 大谷 信一（連尺小）

石黒 智康（豊富小） 久田 あい（六名小）

市川 江梨（生平小） 河上 咲子（生平小）

柴田 雅巳（緑丘小） 石川 仁志（梅園小）

神谷 孝志（六美中） 石井 洋（六北中）

木河 泰（城北中） 橋本 直司（城北中）

高木 美里（美川中） 白川 真理（美川中）

八木 規之（美川中）

敬称略。所属学校名は、応募時のものです。

# ライブビューだよん

## 平成18年度「親子映画会」のお知らせ

今年度の親子映画会の予定をお知らせします。多くの方の参加をお待ちしています。

### 上映日と会場

- 7月22日(土) 南部市民センター
- 7月23日(日) 矢作市民センター
- 7月30日(日) 六ツ美市民センター
- 8月13日(日) 東部市民センター
- 8月20日(日) 中央市民センター
- 8月20日(日) 岩津市民センター
- 8月20日(日) 大平市民センター
- ぬかた会館

### 上映時間

- ・午前の部 10時～11時30分
- ・午後の部 13時30分～15時

### 上映映画

- ・あずきおばけ
- ・じごくのそうべえ
- ・ちびまる子ちゃん

〈まるちゃん社会見学に行く〉 など

## 第50回中学校総合体育大会ビデオ完成!

5月13日(土)に開催された中学校総合体育大会の様子を編集としてビデオにまとめました。中央総合公園アリーナでの開会式と入場行進、柔道、バレーボール、卓球、体操などの競技の映像が記録されています。時間は20分です。ダビングを希望される学校はライブラリーへご連絡下さい。

## 「実践報告」 調べて、まとめて、発表

岡崎市立連尺小学校 杉山 康子

あいあい学習(総合的な学習)の『つばめ探検隊』では、随所にお互いの調べたことや考えたことを伝えあう活動を行った。

ツバメが身近に活動している期間は、学区の巣を観察し、「ツバメかんさつ全国ネットワーク」というサイトに観察日記を登録し、公開した。自分たちの調べている地域だけではなく、他地域の様子も知ることができた。観察の仕方、卵やヒナを外敵から守る方法などの手立ても学ぶことができた。

総まとめの時には、掲示板ソフト「わいわいレコーダ」を利用した。完成した作品を掲示するだけではなく、発表会のプレゼン資料としても用いることができた。あいあい学習発表会では、グループで機器を操作したり、説明を分担したりした。説明している場面に合わせて、わいわいレコーダの画面や、ツバメかんさつ全国ネットワークや親鳥がヒナにえさを運ぶ場面のビデオに切り替えて提示することにより、自分たちの意図を分かりやすく伝える努力をした。タイピングよく提示される資料により、聞き手の理解も深めることができた。



## 「レッツ・トライ」 Web教材「e typing」の活用

タイピング練習用ソフトはたくさん出回っているが、ローマ字を習い立ての小学四年生から大人までが、全国レベルでそのタイピング技能を比べられるのが、インターネットでダウンロードできる「e typing」の特長である。

まず、ヤフーなどの検索エンジンを立ち上げ、検索バーに「タイピング練習」と入力する。上位に「e typing」と出てくるので、選択をする。「腕だめしレベルチェック」ボタンを押せばOKである。

入力する文章は、季節に係った文章もあれば、慣用句のときもあり、継続して練習すれば、いろいろな日本語の言い回しに接することが可能である。

どの指を使つてどのキーを押せばよいのか色が変わって表示されるので、初心者にも容易にブラインドタッチがマスターできる。

なお、入力が完了すると「オツカレサマデザイン」と表示され、スコア、レベル、入力時間、入力文字数、ミス入力文字数、正誤率、苦手キー、コメントなどが出る。全国ランキングも表示可能なので、練習次第で上位を目指す子どもが出てくるかもしれない。このソフトが何より良いのは、学校でも自宅でも同じソフトで学習を行うことができる点ではないだろうか。

(広幡小学校 学習情報主任 近藤 康雄)

